商工NEWS三鷹 2011

隔月刊 NO.224

発行所：三鷹商工会
〒181-0013　三鷹市下連雀3-37-15

E-Mail: shokokai@parkcity.ne.jp
http://www.mitaka-s.jp/

商工会は、事業者の方ならどなたでもご利用できます。お気軽にご相談ください。

経営相談は無料です

経営指導員並びにそれぞれの分野の専門家が、商工会の窓口または、企業を巡回して相談・指導にあたります。

三鷹商工会　新春講演会・新年会開催

日本外交を考える講演会に８７人

平成23年の初春を飾る「新春講演会」と「新年会」が、１月19日に開催されました。「新春講演会」は、「新年会」の始まる前、約１時間の講演会となりましたが、87人の会員に参加をいただき、講演後の残された時間に４人が質問をするという熱心な雰囲気に包まれていました。

「国際政治を読む―今後の国際情勢と日本外交のあり方―」と題した、杏林大学名誉教授の田久保忠衛氏による講演は、現在の日本外交は、どこかが間違っていると指摘し、虫の目で外交を見ずに、もっと広い視野で見るようにと話されました。

講演会と講師の田久保氏

高橋元副会長による乾杯の発声

三鷹産業プラザ　1/19

「原点に戻る」を合言葉に今年の発展を祈念

「新年会」は会場を移し、来賓59人と会員200人出席の中、佐藤文典会長の挨拶から始まりました。佐藤会長は、依然厳しい経済状況の中で、商工会が担う役割に触れ、「原点に戻る」を強調。地元業者の繁栄と地域発展のために存在する商工会の原点を常に念頭に置いて活動したい旨を年頭の言葉としました。来賓の清原慶子三鷹市長は、異業種交流プラザの25周年記念出版に登場した経営者のように、多くの優れた方々が三鷹の産業を支えていることを誇りに思うと話されました。懇親会では、参加者から「今年は（人が）多いね」という言葉が良く聞かれ、盛会のうちに閉会となりました

挨拶する佐藤会長

清原市長の祝辞

太田商業部会長の開会挨拶

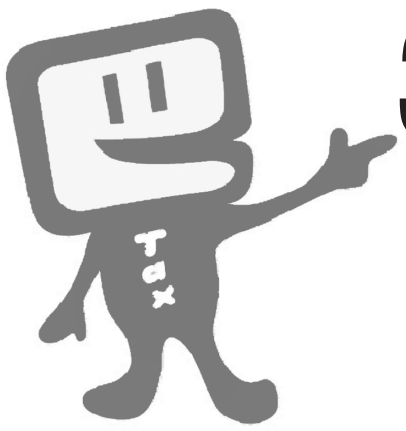
司会を務めた西野理事

商工会の４部会合同新年会は平成６（1994）年、三鷹駅前のネオシティ三鷹を会場として行われたのが最初でした。それまでは部会別に開催されていましたが、商工会というひとつの団体としての仲間意識を育むとともに、部会の壁を越えた情報交換の場となると好評です。次年度、皆さまのご出席をお待ちしています。（編集部）

お急ぎください

所得税 **確定申告**

3/15まで!



国税庁e-Taxキャラクター「イータ君」

４面に無料相談会のご案内

『三鷹の経営者18人の金言集』

三鷹商工会の異業種交流プラザ（代表幹事・坂本恭一）が『三鷹の経営者18人の金言集』を発行しました。結成25周年を記念したもので、理容美容技術選手権大会の世界チャンピオン、園芸業への転身で成功をおさめた農業者、ＮＡＳＡが認めた技術を誇りとする製造業者など広範多岐にわたる経営トップが生い立ちの中で得た哲学を自伝風に語り、経営者だけでなく一般人にも参考になる部分が多いと好評です。125㎜×170㎜とコンパクトなサイズで、1,200円。三鷹市内や吉祥寺の書店で販売されています。

*bookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbookbook*book

…… 日本経済の根幹を支えている中小零細企業は、どこのまちにも存在する。なにしろ99.7%だ。しかし、今、そのほとんどが厳しい経済状況に身をさらされている。日本経済の根幹が悲鳴を上げている。元気になってもらいたい。そんな今を見つめて提案されたのが、ご近所の経営者の人生哲学や経営哲学のエキスと言うべき『金言』を集めて出版しようという企画であった。若手経営者が感動する。ベテラン経営者も元気になる。住人も誇りに思う。ご近所によるご近所のための金言集である。著名な経営者の金言に触れる機会は多いが、身近な等身大の経営者の哲学だからこそ伝わるものもある、という思いである。……

同書あとがきより